

活動紹介

NPO 法人千葉県森林インストラクター会

講座名	緑を楽しむ講座 柏 ニュータウンに残る小さな森の物語		
開催日時	2023年 2月 26日(日) 10時 ~ 12時		
開催場所	柏市あけぼの山農業公園	一般参加者	16名

活動概要



印西市草深の森を、植物に注目して紹介させていただきました。

北総と言われる地域で、千葉ニュータウンに隣接したエリアに、何故モミが自生し、繁殖し続けているのかということを中心に、草深の森の存在意義と、草深の森で見られる問題点を例に、都市近郊の自然の現状を解説させていただきました。



草深の森のモミ



落果した球果



モミの発芽

草深の森のモミは氷河期を生き抜いたものと考えられています。他にも、ハシバミやクロウメモドキ、オオバクロモジなど、冷涼な気候を好む植物と、オモト、オニシバリ、カラタチバナなど、比較的温暖な気候を好む植物が混在している場所です。

近年“勝手植え”という言葉をよく聞きます。良かれと思って植えて行かれた植物、ヒメヒオウギズイセン、ツルニチニチソウ、ラッパズイセンなどが多く見られ、森の生態系を崩してしまうことがあります。民家に近接していることから、庭に植えられていた木の実を鳥が運んだと思われるヒイラギナンテンやキウイフルーツ、鉢の土と共に捨てられたかと思われるオオバアマナなど、園芸植物由来のものも多く見られるようになっていて、こちらも大きな問題になっています。



ハシバミ



ヒメヒオウギズイセン



後半はナラ枯れについて解説させていただきました。草深の森のみにとどまらず、被害の広がっているナラ枯れは、自然林だけでなく、街路樹、公園樹にまで被害が及んでおり、大きな問題になっています。

古木に多く発生しており、トラップで捕殺するなどの対策を紹介させていただきました。

F I C 講師 広畠真知子